

精神神経科

概要

- ・ 大学病院精神科での4週間の実習を行い、治療チームの一員として、1週間のポリクリではわかりにくい患者さんの変化や改善を実感できるプログラムです。また、関連する多様な医療機関で幅広い精神医学・医療を体験できます。
- ・ 家族との面接や地域の生活支援機関、医療、福祉サービス機関との連携により患者さんの地域生活への援助活動を経験していただけるように配慮します。
- ・ 実際に患者さんと触れる機会を多く持てるよう、入院患者を数人受け持ち、診療記録を書く練習もしていただき、その内容についての指導も行います。
- ・ 指導医の指導のもとで外来初診患者さんの予診を取る機会があります。
- ・ カンファレンスで、受け持ち患者さんの概要と現在の治療の進行状態、今後の治療方針などをプレゼンテーションする機会があります。

主な実習

- ・ 広島大学病院精神科だけでなく院外の関連する医療機関で実習を行います。

プログラムに組み込まれる院外実習

- ・ 瀬野川病院（週1回）：地域における生活支援（共同住居、精神科デイケア、訪問看護など）と精神科救急にかかる超急性期患者さんが回復していく過程をについて学んでいただきます。
- ・ 西川病院（島根県浜田市、1泊2日）：新しい就労支援のやり方として個別的な就労支援（IPS：Individual Placement and Support）の先進的な取り組みについて学んでいただきます。また患者さんの全人的理解に向けた多職種連携の会議にも参加していただきます。
- ・ 広島市精神保健福祉センター（午後半日）：行政の地域生活支援を学んでいただきます。
- ・ 舟入病院（午後半日）：児童・思春期の精神科臨床について学んでいただきます。
- ・ 希望や状況に応じて追加可能な実習
院外実習；広島市児童相談所、広島市こども療育センター
広島大学病院精神科での精神医学研究の見学や説明

到達目標

- ・ 治療チームの一員として、指導にあたる医師と一緒に患者を受け持ち、精神医学診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を体験する。
- ・ 医療面接、共感を中心とした支持的精神療法的な関わりを行い、良好な医療者-患者関係を構築するとともに、患者さんの情報を抽出し、診断・全人的理解に結びつけることを学ぶ。
- ・ カンファレンスで、受け持ち患者の概要と現在の治療の進行状態、今後の治療方針などを適切にプレゼンテーションすることができる。

評価

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	80
症例プレゼンテーション	20

主な担当者

大学病院 指導責任者：岡田 剛

連絡先 岡田 怜 (sokada22@hiroshima-u.ac.jp)